

参議院選で過半数を

「安倍政治を許さない政治勢力」に！

藤井克彦

戦争法案強行「採決」に抗する「安倍政治を許さない」たたかい

安倍自公政権は、多くの人々の反対を無視して、違憲の安全保障関連法案＝戦争法案を衆議院に続いて参議院でも強行「採決」をしました。沖縄辺野古の米軍新基地建設も「オール沖縄」の反対を無視して強行しており、原発をめぐる8月にこれも多くの人の反対を押し切って川内原発1号機の再稼働をさせ、今後も再稼働を認める方針です。

全国各地で大きく盛り上がる運動の中で、「安倍政治を許さない」というスローガンが生まれました。

参議院で「安倍政治を許さない勢力」が過半数の議席を確保する意味

安倍自民党は、参議院選挙で3分の2以上の議席を確保して、憲法改定を進める方針です。狙いは9条ですが、最初は「緊急事態条項」新設などで「改憲」に慣れさせ、その後に9条改定に手をつけようとしています。

憲法改悪を阻止し、戦争法を廃止させ、辺野古新基地建設を阻止し、原発再稼働を許さずに脱原発に実現するためには、「安倍政治を許さない勢力」が過半数の議席を確保することが絶対条件です。そして、その後の衆議院選挙でも同様に「安倍政治を許さない勢力」が過半数の議席を確保することが必要です。

戦争法反対運動は、安保闘争などを行ってきた世代の運動とシールズに代表される若い世代の運動をつなぎ、女性の運動とも繋がってきています。日本の民衆が自らの手で民主主義をたたかい取る展望を与えてくれているこの時期に、議会でも自民党政治を倒す必要があります。

野党がバラバラの中での選挙で成立した安倍政権

2012年12月の衆議院選挙で、いろいろな野党がバラバラの中で憲法9条改定を掲げる安倍政権が成立しました。大暴走の始まりです。

私たちが大変危機感を覚え、2013年5月に結成された「政治を考える市民の会」は、「憲法改悪阻止」

「脱原発」を掲げる政党・政治団体に対して、選挙での連携・共闘を呼びかけ、様々な努力をしました。

しかし2013年7月の参議院選では、酒井庸行(自民)新 1,056,145 当選、大塚耕平(民主)現 741,598 当選、薬師寺道代(みんな)新 347,411 当選、本村伸子(共産)新 271,278、近藤浩(維新)新 263,918、宇田幸生(減税)新 152,038、平山誠(みどり)現 62,985、伊藤善規(社民)新 47,104などで、3議席目を「憲法改悪阻止」「脱原発」を掲げる候補者の当選はなりませんでした(共産党・みどり・社民党を合わせれば3位当選)。

参議院愛知選挙区の立候補予定者の状況

参院選愛知選挙区は定数が増え、来年7月の改選数は4となりました。すでに自民党:藤川政人(現)、公明党:里見隆治(新)、民主党:斎藤嘉隆(現)、共産党:須山初美(新)が立候補予定で、民主党安井美沙子(現)は衆議院愛知十区に鞍替えを検討と報じられ、最近では自民党東三河地方支部が複数候補者の擁立を県連に要望するとのこと。また、私たちが得た情報では、社民党や維新の党も擁立を検討しているようです。

愛知選挙区で安倍政治を許さない勢力は結集を！

来年の参議院愛知選挙区では、私たちは、与党候補に2議席を与えるのではなく、民主党、共産党、生活の党と山本太郎と仲間たち、社民党、新社会党、緑の党、そして安倍政治を許さない立場をとるなら維新の党も含めて連携し、安倍政治を許さない勢力が4議席中3議席を確保できるようにすべきと考えます。そのためにはどうすればよいのか？

政治を考える市民の会は、上記の党を招いて、市民の意見を出し、政党・政治団体と話し合い、「安倍政治を許さない勢力」が愛知選挙区で3議席を獲得するために連携するように要請する機会を、下記のようにつくりました。ぜひご参加を！

「安倍政治を許さない政党・政治団体と市民との討論会」

【とき】2015年10月18日(日) 1時半～

【ところ】名古屋市民会館(日本特殊陶業市民会館)第一会議室(定員90名)

【参加費】無料

【主催】政治を考える市民の会(共同代表:池住義憲、内河恵一、永山峰子、河田昌東)